

別紙

I. 事業評価総括表（平成29・30年度（繰越））

（単位：円）

番号	措置名	交付金事業の名称	交付金事業者名又は 間接交付金事業者名	交付金事業に 要した経費	交付金充当額	備考
1	公共用施設に係る整備及び維持補修措置	県道石巻鮎川線局部改良事業	宮城県	58,632,120	58,632,120	
2	公共用施設に係る整備及び維持補修措置	県道牡鹿半島公園線災害防除事業	宮城県	47,507,040	47,507,040	
3	福祉対策措置	女川町立女川小・中学校整備事業	女川町	540,000,000	540,000,000	540,000,000
4	福祉対策措置	石巻市立牡鹿病院医療機器等購入事業	石巻市	15,000,000	15,000,000	15,000,000
5	地域活性化措置	集会所建設費補助事業	石巻市	102,000,000	102,000,000	102,000,000
6	地域活性化措置	牡鹿鯨まつり補助事業	石巻市	5,000,000	5,000,000	5,000,000

（備考） 事業が二つ以上の場合は必要に応じ欄を設けること。

II. 事業評価個表（平成29・30年度（繰越））

番号	措置名	交付金事業の名称				
1	公共用施設に係る整備及び維持補修措置	県道石巻鮎川線局部改良事業				
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		宮城県				
交付金事業実施場所		石巻市荻浜地区				
交付金事業の概要		<p>・本路線は、石巻市内と旧牡鹿町を結ぶ主要幹線道路であり、住民の日常生活や地域経済、観光、女川原子力発電所の安全な運転を支えるほか、災害等の緊急時には、地域住民の円滑な避難や救援活動に資する重要な道路となっており、本路線中の石巻市荻浜地区は、大雨等で冠水し、道路本来の機能に支障が生じることがあるため、嵩上げ等の改良を行うことにより、本路線の機能を回復・維持することが期待されます。</p> <p>・施工延長（L）=260m</p>				
交付金事業に関する都道府県の主要政策・施策とその目標		<p>【主要政策・施策】 宮城県社会資本再生・復興計画（平成23年度～平成32年度）（基本計画編） 4 基本目標達成に向けた主要な施策 基本目標2 いつまでも安心して快適に暮らすことができる生活基盤の整備 □ 地域住民の生活に密着した身近な公共事業の推進 県民がより快適な生活を送ることができるよう、歩道の拡幅や自転車通行帯の設置、交差点改良など生活道路の改善を行うと共に、道路標識や道路照明の設置、側溝の修繕や舗装補修など安全で快適な道路環境を確保する。（略）</p> <p>【目標】 牡鹿半島鮎川地区の住民の生活に必要な不可欠な県道石巻鮎川線の冠水被害を未然に防ぐことにより、住民の生活基盤の安定化を図る。</p>				
事業開始年度		平成28年度	事業終了（予定）年度	平成29年度（平成30年度繰越）		
事業期間の設定理由		事業完了まで2年間（繰越により3年間）を要するため。				
交付金事業の成果目標及び成果実績		成果目標	成果指標	単位	評価年度	令和元年度
		県道石巻鮎川線の冠水被害を未然に防ぐことにより、住民の生活基盤の安定化を図ります。		成果実績		
				目標値		
				達成度		
		評価年度の設定理由				
		事業完了年度の翌年度に評価するところ、平成30年度へ繰り越したため。 交付金事業の定性的な成果及び評価等				
共生交付金の活用により、道路の冠水を未然に防ぐために県道石巻鮎川線において嵩上げが必要な箇所（9箇所）のうち荻浜地区（1箇所）の嵩上げを実施することができました。引き続き、要嵩上げ箇所の現状に応じた嵩上げを行い、本路線の機能の回復・維持・向上を図ります。						
評価に係る第三者機関等の活用の有無						
無						

交付金事業の活動指標及び活動実績	活動指標		単位	平成28年度	平成29・30年度	
	嵩上げ道路の延長		活動実績	m	130	260
			活動見込	m	130	260
			達成度	%	100	100
交付金事業の総事業費等	平成28年度	平成29・30年度（繰越）			備考	
総事業費	69,984,000	58,632,120				
交付金充当額	69,984,000	58,632,120				
交付金事業の契約の概要						
契約の目的		契約の方法	契約の相手方		契約金額	
調査設計		協定締結	石巻市		5,136,480	
道路改良工事		協定締結	石巻市		53,495,640	
			計		58,632,120	
交付金事業の担当課室	宮城県土木部道路課					
交付金事業の評価課室	宮城県土木部道路課					

II. 事業評価個表（平成29・30年度（繰越））

番号	措 置 名	交 付 金 事 業 の 名 称				
2	公共用施設に係る整備及び維持補修措置	県道牡鹿半島公園線災害防除事業				
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		宮城県				
交付金事業実施場所		石巻市鮎川浜				
交付金事業の概要		<p>・本路線は、女川町から牡鹿半島を縦断して石巻市旧牡鹿町に至る路線であり、住民の日常生活や地域経済、観光、女川原子力発電所の安全な運転を支えるほか、災害等の緊急時には、半島部の地域住民の円滑な避難や救援活動に資する重要な道路となっていることから、道路法面対策を行い、大雨等の際の道路崩壊に対する機能強化を図ります。</p> <p>・施工規模 L=64.0m, A=1,117㎡（植生法砕工）</p>				
交付金事業に係る都道府県の主要政策・施策とその目標		<p>【主要政策・施策】 宮城県社会資本再生・復興計画（平成23年度～平成32年度）（基本計画編） 4 基本目標達成に向けた主要な施策 基本目標2 いつまでも安心して快適に暮らすことができる生活基盤の整備 <input type="checkbox"/> 地域住民の生活に密着した身近な公共事業の推進 県民がより快適な生活を送ることができるよう、歩道の拡幅や自転車通行帯の設置、交差点改良など生活道路の改善を行うと共に、道路標識や道路照明の設置、側溝の修繕や舗装補修など安全で快適な道路環境を確保する。（略）さらに、落石のおそれのある箇所や波浪の影響を受けるような箇所については必要な対策を講じ、災害発生を未然に防ぐとともに、老朽化等により機能低下している河川水門や砂防ダム等の補修を行う。</p> <p>【目標】 牡鹿半島の住民の生活に必要な不可欠な県道牡鹿半島公園線の崩壊を未然に防ぐことにより、住民の生活基盤の安定化を図る。</p>				
事業開始年度		平成29年度	事業終了（予定）年度	平成29年度（平成30年度繰越）		
事業期間の設定理由		事業完了まで、繰越により2年間を要するため。				
交付金事業の成果目標及び成果実績		成果目標	成果指標	単位	評価年度	令和元年度
		県道牡鹿半島公園線の崩壊を未然に防ぐことにより、住民の生活基盤の安定化を図ります。		成果実績		
				目標値		
				達成度		
		評価年度の設定理由				
事業完了年度の翌年度に評価するところ、平成30年度へ繰り越したため。						
交付金事業の定性的な成果及び評価等						
共生交付金を活用した施工により、県道牡鹿半島公園線において保護対策が必要と判断された箇所（72箇所）（東日本大震災後に行った県管理道路の崩壊危険箇所総点検結果）のうち、鮎川浜（1箇所）における保護対策を実施しました。施工に当たっては、複数の要保護対策法面のうち、崩壊の危険性がより高い箇所を選定し、優先的に施工したほか、対象箇所の状況に応じた工法を経済性や有効性の観点から適切に選定した結果、県道の安全な通行の確保につながりました。引き続き、法面の現状に応じた適切な保護対策を実施し、本路線の機能の回復・維持・向上を図ります。						

		評価に係る第三者機関等の活用の有無			
		無			
交付金事業の活動指標及び活動実績	活動指標		単位	平成29・30年度（繰越）	年度
	施工延長（L）	活動実績	m	64	
		活動見込	m	64	
		達成度	%	100	
交付金事業の総事業費等	平成29・30年度（繰越）	年度	年度	備考	
総事業費	47,507,040				
交付金充当額	47,507,040				
交付金事業の契約の概要					
	契約の目的	契約の方法	契約の相手方		契約金額
	調査設計	指名競争入札	株式会社構研エンジニアリング東北営業所		7,529,760
	法面対策工事	条件付一般競争入札	陽光建設株式会社		39,977,280
			計		47,507,040
交付金事業の担当課室	宮城県土木部道路課				
交付金事業の評価課室	宮城県土木部道路課				

II. 事業評価個表（平成29・30年度（繰越））

番号	措置名	交付金事業の名称				
3	福祉対策措置	女川町立女川小・中学校整備事業				
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		女川町				
交付金事業実施場所		女川町女川浜				
交付金事業の概要		<p>・女川町立女川小・中学校整備事業のための基金造成事業</p> <p>・東日本大震災での復興事業の一環として、女川町復興計画に基づき、町の中心部の高台へ新たな小中学校を整備するため、共生交付金により造成した基金を用地造成、地盤工事等及び備品購入の各費用に充当し、安全・安心な学校教育の確保を目指します。</p>				
交付金事業に関する都道府県の主要政策・施策とその目標		<p><b>【主要政策・施策】</b>          女川町復興計画（平成23年度～平成30年度）          第4章 復興基本計画          5. 心豊かな人づくり&lt;人材育成&gt;          (1) 安心・安全な学校教育の確保          方針：今回の津波の経験、家族等の被災、生活の不便さを経験した子どもたちは、地域の連携、全国的支援を受け、絆を大切に自立していける力、他人を思いやる心など、多くのことを学びました。これからも、未来を担う子どもたちが、夢と志を持って、安心して学べる教育環境を確保します。</p> <p><b>【緊急対策】</b>          ① 学校施設の復旧・再建          ② 児童生徒等の就学支援</p> <p><b>【目標】</b>          全児童・生徒に対する徒歩通学児童・生徒の割合 66.6%（平成32年度）          ※震災後、人口減少に伴う通学圏の小中学校の閉鎖、仮設住宅への入居、工事用車両の増加などにより、安全に徒歩で通学できない児童・生徒が相当数います。町の復興の推進とともに、中心部に新たな小中学校を整備することにより、児童・生徒の安全な通学路を確保し、子どもたちが安心して学べる教育環境を提供します。</p>				
事業開始年度		平成29年度	事業終了（予定）年度	平成29年度		
事業期間の設定理由						
交付金事業の成果目標及び成果実績		成果目標	成果指標	単位	評価年度 令和3年度	
		徒歩通学児童・生徒の割合 66.6%	徒歩通学児童・生徒の割合： 徒歩通学児童・生徒数÷全児童・生徒数×100	成果実績		
				目標値	66.6	
				達成度		
		評価年度の設定理由				
		交付金事業により造成した基金は、学校整備のために取り崩すため、学校完成後、成果実績を測定した後に評価します。				
交付金事業の定性的な成果及び評価等						
評価に係る第三者機関等の活用の有無						
無						

交付金事業の活動指標及び活動実績	活動指標		単位	平成29年度	年度	年度
	基金造成額	活動実績	円	540,000,000		
		活動見込	円	540,000,000		
		達成度	%	100		
交付金事業の総事業費等	平成29年度	年度	年度	備考		
総事業費	540,000,000					
交付金充当額	540,000,000					
交付金事業の契約の概要						
契約の目的		契約の方法	契約の相手方		契約金額	
基金造成		積立て	-		540,000,000	
交付金事業の担当課室	女川町教育委員会教育総務課					
交付金事業の評価課室	女川町教育委員会教育総務課					

II. 事業評価個表（平成29・30年度（繰越））

番号	措置名	交付金事業の名称			
4	福祉対策措置	石巻市立牡鹿病院医療機器等購入事業			
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		石巻市			
交付金事業実施場所		石巻市立牡鹿病院（石巻市鮎川浜清崎山）			
交付金事業の概要		<p>石巻市立病院は、牡鹿地区の中核病院として地域医療を担っているほか、救急告示病院に指定され、24時間体制で救急患者の受入れに対応していますが、石巻の市街地から車で約1時間の半島部に立地しており、車以外に移動手段がないことなどから、医療スタッフを確保することが非常に厳しい状況にあります。そこで、石巻市病院局が公募・採用した医療スタッフを派遣してもらうことなどにより医療スタッフの確保・定着を図るとともに、限られた人員であっても、医療の質や患者へのサービスを低下させることなく、安全かつ効率的な病院運営を行い、持続的な医療を提供するため、医療機器等の購入（医療情報システム、歯科用レセプト機器、歯科用X線画像システム）を行います。併せて、これらの医療機器等の導入により、従来はできなかった検査等の実施を可能にし、患者数の増加を図ります。</p>			
交付金事業に関係する都道府県の主要政策・施策とその目標		<p>【主要政策・施策】  石巻市総合計画（平成19年度～平成32年度）  第4章 安心して健やかに暮らせるまち  第2節 生涯を通じて元気で健康な暮らしが実現できるようにする  2 医療体制を充実する  ・離島、半島部については、保健予防的な対策の充実を図るとともに、市立牡鹿病院と網小医院の連携により、医療の確保に努め、救急患者の搬送体制の確立を図ります。</p>			
事業開始年度		平成29年度	事業終了（予定）年度	平成32年度	
事業期間の設定理由		石巻市総合計画実施計画の終期までとします。			
交付金事業の成果目標及び成果実績	成果目標	成果指標	単位	評価年度 令和3年度	
	石巻市立牡鹿病院における平成29年度から平成32年度まで（4年間）の外来患者延数及び入院患者延数	4年間（H29～H32）の外来患者延数及び入院患者延数の累計総数に牡鹿地区における過去5年間（H25～H29）の人口減少率の平均を乗じて補正した値	成果実績	人	
			目標値	人	66,175
		達成度	%		
	評価年度の設定理由				
	複数年度にわたり医療機器等を購入するため、一連の導入が完了した後に成果を評価するため。				
	交付金事業の定性的な成果及び評価等				
-					
評価に係る第三者機関等の活用の有無					
無					



交付金事業の活動指標及び活動実績	活動指標		単位	平成29年度	年度	年度
	医療機器等の導入件数		活動実績	件	3	
			活動見込	件	3	
			達成度	%	100	
交付金事業の総事業費等	平成29年度	年度	年度	備考		
総事業費	68,781,200					
交付金充当額	15,000,000					
交付金事業の契約の概要						
契約の目的		契約の方法	契約の相手方		契約金額	
医療情報システムの購入		随意契約	株式会社ソフトウェア・サービス		63,500,000	
歯科用レセプト機器の購入		指名競争入札	株式会社ウチヤマ		3,056,400	
歯科用X線画像システムの購入		指名競争入札	株式会社協立医療仙台支店		2,224,800	
計					68,781,200	
交付金事業の担当課室	石巻市立牡鹿病院事務部門					
交付金事業の評価課室	石巻市立牡鹿病院事務部門					

II. 事業評価個表（平成29・30年度（繰越））

番号	措置名	交付金事業の名称				
5	地域活性化措置	集会所建設費補助事業				
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		石巻市				
交付金事業実施場所		石巻市新山浜，網地，長渡				
交付金事業の概要		地域住民のための集会所（新山浜集会所，網地集会所，長渡集会所）の整備事業を行う町内会等に対する補助金を交付することにより，各集会所の整備を促進・実現することを通じて，各地域の住民の連帯意識の醸成と自治意識の高揚を図り，もって各地域が一層活性化されることが期待されます。				
交付金事業に関する都道府県の主要政策・施策とその目標		<p>【主要政策・施策】  石巻市総合計画（平成19年度～平成32年度）  第1章 ともに創る協働のまち  第1節 住民の自治力を強化する  2 公益的な市民活動を支援する  ・集会所の新築，改築，増築及び改修事業などに対し，補助金を交付し，住民活動の拠点である集会所建設等を支援する。</p> <p>【目標】  集会所建設費補助件数 8件（平成29年度 石巻市全体）  ※地域コミュニティの中心となる集会所は，地域住民の会合をはじめ，祭りや敬老会など，地域が主体となって実施する全ての活動拠点となっている。また，市が実施する健康講座の会場や選挙の投票所としても活用されているほか，有事の際は指定避難所になるなど，地域において非常に重要な施設であることから，地域コミュニティの活動の中心となる集会所の整備を支援することにより，住民の連帯意識の醸成と自治意識の高揚を図る。</p>				
事業開始年度		平成29年度	事業終了（予定）年度	平成29年度（平成30年度繰越）		
事業期間の設定理由		事業完了まで，繰越により2年間を要するため。				
交付金事業の成果目標及び成果実績		成果目標	成果指標	単位	評価年度	令和元年度
		集会所の整備支援により，住民の連帯意識の醸成と自治意識の高揚を図ります。		成果実績		
				目標値		
				達成度		
		評価年度の設定理由				
		事業完了年度の翌年度に評価するところ，平成30年度へ繰り越したため。				
交付金事業の定性的な成果及び評価等						
		<p>本交付金の活用により，平成29年度における石巻市全体の補助目標（8件）のうち，牡鹿地区における3件を補助することができました。牡鹿地区は，市内でも特に高齢化が進んでいる地域ですが，本補助金の活用により，各集会所が，バリアフリー化，洋式トイレ化するなど，高齢者が安全に安心して使用できる施設になったほか，災害時等の備蓄能力が強化され，地域の住民がより利用しやすい地域コミュニティの拠点として生まれ変わることができました。今後は，管理方法や運営について適宜助言するなど，集会所の自立的な運営と一層の活用を図ります。</p>				

		評価に係る第三者機関等の活用の有無			
		無			
交付金事業の活動指標及び活動実績	活動指標		単位	平成29・30年度	年度
	集会所建設費補助件数	活動実績	件		3
		活動見込	件		3
		達成度	%		100
交付金事業の総事業費等	平成29・30年度(繰越)	年度	年度	備考	
総事業費	133,033,000				
交付金充当額	102,000,000				
交付金事業の契約の概要					
	契約の目的	契約の方法	契約の相手方		契約金額
	新山浜集会所建設費の補助	補助	石巻市新山浜振興会		24,440,000
	網地集会所建設費の補助	補助	石巻市網地自治会		38,611,000
	長渡集会所建設費の補助	補助	石巻市長渡地区振興会		69,982,000
		計			133,033,000
交付金事業の担当課室	石巻市牡鹿総合支所地域振興課				
交付金事業の評価課室	石巻市牡鹿総合支所地域振興課				

II. 事業評価個表（平成29・30年度（繰越））

番号	措置名	交付金事業の名称					
6	地域活性化措置	牡鹿鯨まつり補助事業					
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		石巻市					
交付金事業実施場所		石巻市鮎川浜					
交付金事業の概要		鮎川浜地区の活性化及び「鯨の町」として築き上げた捕鯨文化の伝承を目的として毎年1回実施される「牡鹿鯨まつり」の運営に対する補助金を交付し、活気ある祭りの実現を通じて、当該地域の活性化を図ります。					
交付金事業に関係する都道府県の主要政策・施策とその目標		<p><b>【主要政策・施策】</b>  石巻市総合計画（平成19年度～平成32年度）  第3章 地域資源を活かして元気産業を創造するまち  第7節 年間を通して観光客が訪れることによりにぎわいを創出する  1 魅力ある観光地づくりと効果的なPRの推進を図る  &lt;まつり・イベントの充実&gt;  ・地域のまつりを保存充実し、観光資源として魅力の向上に取り組み、交流人口の拡大を図る。</p> <p><b>【目標】</b>  牡鹿鯨まつり観光客入込数 10,000人（平成32年度）  ※牡鹿鯨まつりは、昭和28年から開催されてきましたが、東日本大震災により一時中断を余儀なくされ、平成25年に再開されたものの、規模を縮小せざるを得ませんでした。今後、復興事業として、牡鹿地域拠点エリアの整備が進められ、捕鯨文化の展示施設、商業施設、旅客船関連施設等が集約して整備されるのに併せて、まつりの規模を再び拡大し、牡鹿地区全体の復興を象徴・発信するイベントとして位置付けていく予定です。</p>					
事業開始年度		平成29年度	事業終了（予定）年度	平成29年度			
事業期間の設定理由							
交付金事業の成果目標及び成果実績		成果目標	成果指標	単位	評価年度	令和3年度	
		牡鹿鯨まつり観光客入込数 10,000人	牡鹿鯨まつり観光客入込数 (人)	成果実績	人		
				目標値	人	10,000	
				達成度	%		
		評価年度の設定理由					
		祭りの人出は天候等に影響されるため、単年度評価ではなく、上位計画期間を通じた推移により評価する。					
		交付金事業の定性的な成果及び評価等					
-							
評価に係る第三者機関等の活用の有無							
無							
交付金事業の活動指標及び活動実績		活動指標		単位	平成29年度	年度	年度
		牡鹿鯨まつり補助件数		活動実績	件	1	
				活動見込	件	1	
				達成度	%	100	

交付金事業の総事業費等	平成29年度	年度	年度	備考
総事業費	5,000,000			
交付金充当額	5,000,000			
交付金事業の契約の概要				
契約の目的	契約の方法	契約の相手方		契約金額
補助金の交付	補助	牡鹿鯨まつり実行委員会		5,000,000
交付金事業の担当課室	石巻市牡鹿総合支所地域振興課			
交付金事業の評価課室	石巻市牡鹿総合支所地域振興課			